熱田区歴史資料室　第１回常設展示

宮の宿

～宿をめぐる風景と人々のくらし～

熱田には、東海道唯一の海上路を持ち街道随一の賑わいを見せた宿場まち「宮宿」がおかれていました。また、沢上地区から高蔵地区に渡る古墳群や三種の神器のひとつ「草薙の剣」を御神体とする熱田神宮など、熱田区は全国でも有数の古い歴史と特色をもつ土地です。わたくしたちのまちの歴史を、より多くの市民の皆様に触れていただけるよう、熱田生涯学習センターに保管する福島コレクションなどを熱田区役所に移管し、区役所１階に熱田区歴史資料展示コーナーを開設します。

第１回の常設展示では、「宮宿」を少し広い範囲でとらえ、あわせて当時の人々の様子などもうかがうことができる歴史資料を選定しました。

これからも定期的にテーマを定めて展示していきますので、ぜひ一度お立ち寄りください。

五十三次名所図絵　四十三「桑名」

初代安藤広重、木版多色刷

展示開始：　平成２２年１１月８日（月）

開設時間：　区役所開庁時間にあわせ常設展示

テーマ　：　「宮の宿」

場　所　：　熱田区歴史資料展示コーナー
（区役所１階）

問合せ　：　熱田区役所まちづくり推進室
６８３－９４２５

東海道五十三次之内「宮」

初代安藤広重、木版多色刷

「宮の祭」

大矢米年筆、墨彩

（題字）　熱田区書道連盟　中村秀峰先生

（福島コレクションについて）

熱田区に関する郷土資料の収集家として知られる、故福島重夫氏が３０年の歳月を費やして収集された約１２００点もの熱田を中心とした貴重な歴史的資料（錦絵、地図等）です。昭和５９年６月の熱田生涯学習センターの開館にあたり、名古屋市（熱田生涯学習センター）に寄贈されたものです。

（熱田区歴史資料展示コーナーについて）

熱田区歴史資料展示コーナーは、熱田区歴史資料ボランティア（代表　周防有彦さん以下 12 名）の皆さんの活動により運営されています。